

# 平成29年度実績に係る部局評価書

部局名: 生物工学国際交流センター

【評価区分1】 部局年度計画に対する 達成状況評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」 に係る実績評価	【総合評価】 評価区分1及び 評価区分2に係る評定
<b>S</b>	<b>A</b>	<b>S</b>

## 【評価区分1: 部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った主な理由)
【教育】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		大学院生を海外フィールドスタディ(S)「生物資源と環境」で25名短期派遣したり、海外から37名の短期留学を受け入れるプログラムを実施したことが評価できる。
【研究】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
		海外の研究機関・研究者等との共同利用・共同研究を10件(一人当たり1.6件)実施したことが評価できる。
【社会貢献】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
【グローバル化】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		マヒドン大とのジョイント・ディグリー・プログラムの構築に向けた協議に参加したり、バンドン工科大におけるジョイントキャンパス設置に向けた調整を行って調印まで行うなど、全学の方針として進めているASEANキャンパスの実現に尽力したことが評価できる。
【業務運営】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。

## 【評価区分2: 「全学的に重視する指標」に係る実績評価】

<p><b>【評価コメント】</b>            科研費応募件数について、センター長が研究者と個別面談を実施し、積極的な応募を促していることが評価できる。            また、クロス・アポイントメントの実施については、卒業生との繋がりを活用し、積極的に取り組むことで実績を上げたことが高く評価できる。</p>
---